社会福祉法人福田会
発行日２０１５年夏号

第19号

ふくでんかい便り

さらなる飛躍を目指して

理事長新年度ご挨拶

理事長
太田　孝昭

平成23年度から始まった福田会100周年記念事業の整備計画も昨年度の宮代学園の完成で一段落しました。現在は最後の仕上げとしてグランドの整備工事をしております。子どもも高齢者も楽しく遊べたり、憩えるような空間を作りたいと考えております。グランドを含めた緑地や散策路が地域の皆様も交流できるような場所になれば良いと考えております。このグランド整備につきましては株式会社オープンハウス社長の荒井正昭様から多大なるご寄附を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。平成27年度はグランド整備を完成させると共に、もう一つの100周年記念事業として取り組んできました記念誌「福田会のあゆみ」を発行致します。今後も皆様方のご理解、ご支援を頂きながら福田会の利用者ならびに地域福祉の為に努めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

後援会からの報告とお願い

後援会会長
安倍　昭恵

1．26年度会計報告について（3月末現在）

平成26年度　後援会　収支報告書

平成27年3月31日現在

	収入			支出		
26年度	内訳	94名	19,196,000円	内訳	さくらホール音響設備	1,182,090円
					児童お年玉	136,000円
					広尾フレンズ新郷村往復交通費	475,400円
					福田会グランド整備の1部	2,700,000円
	収入計①		19,196,000円	支出計②		4,493,490円
				収支差額③（①－②）		14,702,510円
				25年度残高④		7,695,890円
				26年度残高⑤（③+④）		22,398,400円

26年度の寄付金には、グランド整備を目的とした1500万円の大口寄付金が入っております。27年度に整備完了次第支払が発生致します。

後援会事務局長
伊藤　巌

2．奨学金制度の充実

本年3月には奨学金制度を利用し専門学校に進んでいた卒園生が就職し、それぞれが大きな目的をもって社会に羽ばたきました。

27年度は施設初の大学進学者も出て支援することとしました。

4年間の国立大学の資金を奨学金対応することになり、その影響か他の児童の進学へ向けての本気度も増し、目が輝き出しているのが判ります。

更なる、奨学金の資金充実には会員の増加・理解者の確保が急務となります。

3．児童向け図書寄付依頼

施設では建物整備も一段落し、遅れていた図書室内整備にも目が向かい、整備が一歩前進致しました。

公益財団法人伊藤忠記念財団様から図書整備費用を寄贈して頂きました。更に、渋谷区を通じて移転する図書館からも現物支援が受けられました。

子ども向けの本がございましたら寄贈頂きたく、まずはご連絡いただきたくお願い申し上げます。

4．桜の苗木を植樹

横綱「白鵬関」の身内の方（後援会加入者）より、桜の苗木を30本頂戴しました。

福田会の旧正門近くにありました大きな桜を施設工事のため切らざるを得ませんでしたが、頂戴したこの若木が5年後には立派な桜となり、10年後には横綱級に成長するものと確信いたします。

5．後援会の方々との交流について

広尾フレンズの中に地域交流センター「さくらホール」がございます。

このホールを生かして後援会の方々との交流の機会を増やしたいと考えております。

①各国の大使館との交流への参加

卒園式・クリスマス会・施設行事に多くの国々の大使も来園します。

②クラシックコンサートへの招待・参加

寄贈いただきましたグランドピアノを活用し、コンサート会場として大いに活用しております。後援会の方々もどんどん参加して下さい。

③素読会への参加

素読会とは、昔の寺子屋で教えられた四書の一つ「大学」を大声で素読します。脳の活性化に役立ち、子どものみならず成人・高齢者の認知症防止の効果に期待できます。

6．後援会紹介運動（次年度の会員増加のため）

評議員・後援会加入者の方々からより多くの方へ施設の紹介をして戴き、後援会加入者の増加を図りたいと思っております。

皆様には施設の活動の現状や整備された施設内を見て戴き、一人でも多くの理解者を増やすようご協力くださるようお願い申し上げます。

広尾フレンズ

＜卒園式＞

26年度は卒園生が7名と例年にない多い人数でした。3月21日の卒園式には安部昭恵後援会長始め後援会の方々やオマーン王国大使、近隣町会関係者、お世話になったボランティアなどを招き盛大な式になりました。

卒園後は大学進学（1名）、専門学校進学（1名）、就職（5名）と進路が決まっており、それぞれの道を進みます。

式後の会食は職員、児童全員で町内のキリスト教会の協力を得て会場を無償で借り、ボランティアの方々に豪華な食事を作っていただき堪能しました。また児童それぞれの卒園までの成長をビデオで鑑賞したり、出し物があったりと楽しい時間を過ごし卒園と就職、進学のお祝いをしました。

＜進級進学祝いと事業説明会＞

今年度は小学校1年生3名、高校進学者2名と進級する児童たちのお祝いの会と新年度を迎えての施設全体の事業についての説明会を行いました。

それぞれが新たな年度を意義ある年にしたいとの願いをこめて抱負を語り、方針を確認しました。また児童代表からの意見表明として「大人は子どもの声をきちんと聴く」ことが伝えられました。しっかりと守っていくことを約束しました。

宮代学園～成長を祝う会～

桜のつぼみも膨らんで春の訪れを告げていた 3月下旬、新設した宮代学園の食堂を会場として、26年度宮代学園子ども達の成長を祝う会を開催しました。子ども、保護者、職員総勢85名が参加し、子どもたち一人ひとりの1年間の成長の様子をスライドショーで振り返ってみました。またそれぞれ進級、進学をすることへの抱負を皆の前で話し、新たな道への第一歩を歩み始めました。みんなが主役となって誇らしげでした。今年度も子ども達が安心して 1歩ずつ成長していけるよう職員一同サポートをして参りたいと思います。（祝う会担当）

広尾ジョイワーク・広尾てくてく

多機能型事業所は、放課後等デイサービス（定員10名）就労継続支援B型（定員15名）の併設事業所となっております。宮代学園建替えに伴い、放課後等デイサービス『広尾てくてく』が昨年12月1日より先行開所しました。年度の切り替えに合わせまして、平成27年4月1日就労継続支援B型『広尾ジョイワーク』が開所し、多機能型事業所としてスタート致しました。広尾てくてくは、月毎の稼働率は90％以上となっており、広尾ジョイワークは4名の利用者の入所となりました。伝統ある福田会の事業所の中で一番新しい施設となります。事業所名にあるとおり『てくてく～子ども達と一緒にてくてくとゆっくり成長していく』『ジョイワーク～楽しく生きがいのある働く場所』を目指し、スタッフ一同精進してまいります。よろしくお願い致します。【多機能型施設長・郡山】

◆東京都共同募金会の配分金により送迎車両を購入しました

福田会では施設整備第3期工事において、多機能型事業所の併設を計画し、平成26年12月に放課後等デイサービス「広尾てくてく」、平成27年4月に就労継続支援Ｂ型「広尾ジョイワーク」を立ち上げ、福田会初となる通所事業をスタートさせました。

両事業においては、地域の皆様より送迎の実施を強く期待されていましたが、法人所有車両は老朽化が激しく、送迎に適した10人乗り車両も所有していなかった為、東京都共同募金会へ車両整備に伴う配分金の申請を致しました。

そして、この度「平成26年度ＮＨＫ歳末たすけあい」による配分を受ける事が出来、待望の10人乗り送迎車両を購入する事が出来ました。

これにより、効率的な送迎が可能になり、車内空間が快適になった事で利用者様の負担も軽減されました。

多くの皆様からの温かい善意により、快適で安全な送迎が実施出来る事を心より感謝申し上げます。

共同募金へ寄せられた寄付金はこの様に活用されていますので、今後とも皆様のご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

広尾グリーンハウス　グループホーム広尾

グループホーム広尾では、毎月季節の行事を行い、日常生活を季節感のあるものにしています。今回は節分（写真1）と端午の節句（写真2）をご紹介します。

広尾グリーンハウスでは、週3回の余暇活動で音楽を使った体操等を行い介護予防に役立てています。（写真3）

5月10日には渋谷区の福祉関係者の祭「せせらぎまつり」に利用者・ご家族・ボランティア・職員が参加し「リンゴの唄」や「野ばら」等を歌いました。（写真4）また、福田会の全施設合同で今年2月に消防署の指導のもと避難訓練を行いました。（写真5）

（写真1　節分）

（写真2　端午の節句）

（写真3　余暇活動）

（写真4　せせらぎまつり）

（写真5　避難訓練）

平成26年度決算報告（法人全体）

社会福祉法人　福田会　平成26年度決算　内容
【事業活動計算書の要旨】平成27年3月31日

（単位：千円）

収入		支出	
介護保険事業収益	86,363	人件費	424,285
老人福祉事業収益	62,115	事業費	111,462
児童福祉事業収益	359,306	事務費	92,445
障害福祉サービス等事業収益	113,356	当期就労支援原価	1
児童手当収益	5,230	減価償却	55,482
寄附金収益	43,330	国庫補助金積立金取崩	–25,446
サービス活動収益　計①	669,700	サービス活動費用　計②	658,229
		サービス活動増減差額③（①+②）	11,471
借入利息補助収益	825	支払利息	5,325
受取利息配当金収益	100	その他サービス活動外支出	5,507
その他サービス活動外収益	12,037		
サービス活動外収益　計④	12,962	サービス活動外支出　計⑤	10,832
		サービス活動外増減差額⑥（④+⑤）	2,130
		経常増減差額⑦（③+⑥）	13,601

皆様のご厚意に感謝致します

寄附者（平成27年1月1日～5月31日）

<本部>青沼丈二、秋山洋祐、アクタスマネジメントサービス㈱ 代表取締役 加藤幸人、芦田淳、安部眞一、安倍昭恵、一般財団法人Classic for Japan、伊藤公貴、大澤禎子、大髙昭雄、大髙和子、太田孝昭、香川真里、株式会社 TI企画、株式会社太平洋、株式会社ハーモニー 代表取締役 吉田亮一、㈱樹興ビルサービス、金澤紀子、小林秀徳、斎藤進、阪田雅裕、笹山聡人、さわやか信用金庫広尾白金支店、清水康之、竹原聰子、田中信幸、東京チャリティーカップ2014、東洋リネンサプライ㈱、中川洋、新沼妙子、前山康廣、山木康孝、有限会社 橋本工業、有限会社 ヤエノ、横山すみ枝、リカリ薬局、和田明代、渡辺美絵<宮代学園>株式会社 晃永 野瀬明美、みずほ情報総研株式会社<広尾フレンズ>荒井正昭、MBKパートナーズ㈱、川名栄子、㈱オープンハウス、㈱サンドラッグ、㈱デジタルライズ内海哲也ランドセル基金、グルーポン・ジャパン㈱、ケンゾウエステイトワイナリージャパン㈱、セレネー、都立六本木高校、ノルウェー王国大使館、プリマハム㈱、㈲スローハンド・リレイション、㈲ダスカジャパンクァウテモック<グループホーム広尾>及川京、笠原芳江、河野壽子、北村キミ、長田ムツ子、本田清隆<広尾グリーンハウス>上村ハツイ、後藤典子、本田清隆　～ありがとうございました～

〒150-0012　東京都渋谷区広尾 4-2-12　社会福祉法人 福田会
電話. 03-3400-4009（広尾フレンズ）／03-3407-3433（宮代学園）／03-6427-6576（広尾ジョイワーク）／03-6427-6527（広尾てくてく）
03-6418-5548（広尾グリーンハウス）／03-6418-5587（グループホーム広尾）
FAX . 03-3407-0478（全施設共通）

E-mail.　tokyohonin@fukudenkai.or.jp（広尾フレンズ）　／　miyashiro@fukudenkai.or.jp（宮代学園）
joywork@fukudenkai.or.jp（広尾ジョイワーク）　／　tekuteku@fukudenkai.or.jp（広尾てくてく）
greenhouse@fukudenkai.or.jp（広尾グリーンハウス）　／　grouphome@fukudenkai.or.jp（グループホーム広尾）

http://www.fukudenkai.or.jp　ホームページもご覧下さい